



ホーム / 教育・啓発 / 大会



こども環境学会 2022 東京大会
Association for Children's Environment
ハイブリッド方式（リアル開催およびオンライン開催の併用）

“クライシスとこどもの環境”

こども環境学会2022年大会（東京） 6月30日（木）～7月3日（日）

《お申込みフォームはこちら》

■こども環境学会 東京大会 チラシ ダウンロード

2022年大会は東京にある日本女子大学を会場に行います。2011年の東日本大震災から約10年が経ちましたが、この間、私たちは様々な災害に見舞われました。2013年には東京都伊豆大島で大型台風の影響による土石流が起こり、保育園や小学校までもがその被害に脅かされました。2014年の広島豪雨、2016年の熊本県益城町を中心とした地域での大地震。2018年9月に発生した北海道胆振東部地震の際は、震源近くにあった安平（あびら）町の認定こども園ではお泊り保育を行っており、その後はこちらのこども園がボランティアセンターとなって災害復旧活動の拠点となりました。2019年に関東を大型台風が襲った際には、多摩川の水があふれ、河川近くの保育園に水が押し寄せています。

このように振り返ると、この10年間は日本が多くの震災に見舞われた年月でした。そして、その被害は大人の生活だけに留まらず、こども達の安心・安全な生活環境までも脅かしています。今後、こどもたちが健全に育つための環境を守り、より良いものとしていくことが私たちの使命であると強く感じさせられます。

そこで2022年の東京大会はテーマを「クライシスとこどもの環境」とし、こどもたちを取り巻くクライシス（危機）について考え、様々な視点から参加者の皆さま方と共に検討していきたいと考えています。

基調講演、シンポジウム、分科会なども、「クライシスとこどもの環境」という大会テーマの下、魅力ある企画を検討いたしました。その1つは、日本女子大学西生田キャンパスにおけるこども参加の企画です。

大会校の日本女子大学は2021年にキャンパス統合をし、すべての学部が目白キャンパスに集約されました。一方で人間社会学部があった西生田キャンパス（神奈川県川崎市）には、広大な森（水田記念公園）が存在します。こちらの森を使ってこどもたちが参加できる企画を検討いたしました。

2022年大会（東京）実行委員会 副委員長
日本女子大学家政学部児童学科教授 請川 滋大

■こども環境学会2022大会（東京）

■テーマ：クライシスとこどもの環境

■日時：2022年6月30日（木）～2022年7月3日（日）

■会場：ハイブリッド・日本女子大学（東京都文京区目白台2-8-1）他

■主催：公益社団法人こども環境学会

■共催：学校法人日本女子大学

※2022年6月30日（木）プレイベントのみ公益財団法人日本ユニセフ協会との共催

■開催概要

【6月30日（木）プレイベント】 13:30～16:30 ☆オンライン

オンライン（ZOOMウェビナー）こども環境学会&日本ユニセフ協会共催フォーラム
『コロナ禍長期化において子どもの健全な育成環境と子どもにやさしいまちづくり』

●基調講演

「新型コロナウイルス感染症流行下における子どもの健康」五十嵐 隆（こども環境学会会長/ 国立成育医療研究センター 理事長）

「変化する社会において子どもの権利をどう守るのか」甲斐田 万智子（認定NPO 法人 国際子ども権利センター代表理事/ 文京学院大学教授）

●パネルディスカッション「コロナ禍長期化における子どもにやさしいまちづくり」

登壇者：五十嵐隆、甲斐田万智子、片山健也（二セコ町長）、若生裕俊（富谷市長）、仲川げん（奈良市長）

司会：木下勇（日本ユニセフ協会CFCI 委員会委員長/ 大妻女子大学教授）

※プレイベントは大会とは別にお申込みが必要です <https://www.unicef.or.jp/news/2022/0108.html>
（東京大会 お申込みフォームからもリンクしています。）

【7月1日（金）エクスカージョン】 ★リアル

Aコース 9:30～12:00 日本女子大学附属豊明幼稚園・豊明小学校見学 ★リアル（先着20名程度）
日本女子大学附属豊明幼稚園（監修：篠原聡子）および附属豊明小学校（設計：内井昭蔵）の施設を案内いただきながら見学をします。（集合 9:30 日本女子大学正門前）

Bコース 9:30～12:00 IKEBUS（イケバス）で巡る豊島区の公園まちづくり ★リアル（先着20名程度）

豊島区内を巡るIKEBUS（イケバス）で移動しながら、豊島区役所 豊島の森、IKE・SUNPARK（イケ・サンパーク）、南池袋公園などの見学を行います。（集合 9:30 南池袋公園）

Cコース 14:00～16:00 日本女子大学目白キャンパスツアー ★リアル（先着50名程度）

日本女子大学の卒業生で世界的に活躍する建築家・妹島和世氏がグランドデザインを行った「目白の森キャンパス」内の図書館、教室・研究棟（百二十年館）・新学生棟、および本学創立者である成瀬仁蔵の住居を移築保存した旧成瀬仁蔵住宅、成瀬記念講堂（文京区有形文化財）を自由に見学いただきます。（受付 14:00～15:30 日本女子大学 百年館1階ロビー）

※Aコース、Bコース同時参加はできません

【7月2日（土）】 ★リアル（～120名程度） ☆オンライン

■成瀬記念講堂 ★リアル（☆オンライン中継あり）

10:00-10:30 : 開会式

10:30-11:30 : 基調講演

「中庭というヴォイドが繋ぐ多様な風景—日本女子大学のキャンパス再整備を通して—」篠原 聡子
(日本女子大学学長)

14:30-16:30 : 国際シンポジウム

就学前施設における多国籍ルーツを持つ子ども達とその保護者への支援

シンポジスト ベロニク シモン Dr. Veronique Simon (スウェーデン王国ウプサラ大学教育学部准教授・文学博士)

Presentation of research and pedagogic material from the European project KINDINMI, The Kindergarten as a Factor of Inclusion for Migrant Children and their Families

パネリスト 小澤 紀美子 (東京学芸大学名誉教授) 多文化共生社会への共創をめざして—「変容をうながす学び・教育」の再構築—

パネリスト 和田上 貴昭 (日本女子大学准教授) 日本における外国にルーツのある子育て家庭の状況
コーディネーター 浅野 由子 (日本女子大学児童学科・専任講師)

16:30-17:00 : 会員総会

17:00-18:00 : 表彰式・記念講演

■百年館1階ロビー ★リアル

12:45-14:15 : ポスターセッション (★現地ポスター発表)

■オンライン会場 ☆オンライン

12:15-14:15 : ポスターセッション (☆オンライン発表)

■西生田キャンパス ★リアル (先着5組:親子 程度 事前申込要) ☆オンライン

9:30-12:00 : 生田の森ワークショップ ★リアル 11:30~12:00 : ☆オンライン中継

■百年館 (場所未定) (オンライン中継あり) ★リアル ☆オンライン

18:00-19:00 : 若者トークセッション

「ワカモン* (若い“問い”) を交わしワクワク協創しよう: こども環境の [DX] を世代縦横断で探る: 体験、身体性、コミュニケーション、多様性〜」宮本雄太 (福井大)、寺田光成 (高崎経済大)、櫻井隼人 (埼玉医大)、後藤智香子 (東大)、松島潤平 (北大)、秋田知芳 (山口大)、堀田一敬 (山口大)、張山昌論 (東北大)、小柴満美子 (山口大/東北大/埼玉医大)、同調される全ての学会員
コロナ禍やDX、多様化、複雑化、SDGs を要する社会変化により、こどもの生育環境は大きく変容しています。そこで、多様に議論し合いながら一丸となるべく、“ワクワク集まる”協創をスタートする議論のプラットフォームを日本女子大学大会1日目18時にオープンします! ワカモン (若い“問い”) を中心に、あらゆる世代の実践者・研究者が本トークセッションに集い、知見・意見を交わし、ワクワク「こども環境」の未来づくりに何が重要な目標か、何を行っていくか、を話し合しましょう!

【7月3日（日）】 ★リアル（～120名程度） ☆オンライン

■百年館206室 ★リアル (60名程度) ☆オンライン中継あり

9:00-11:00 : 分科会①『こどもたちが活用できる森とは?—日本女子大学西生田キャンパスを例として—』★リアル (60名程度) ☆オンライン

パネリスト 宮崎温 (あっちゃん: こどもの森幼稚園・副園長)、勝山翔太 (リリー: 学校法人軽井沢風越学園・教諭)、渡邊亮宏 (タカ: 北海道文教大学人間科学部こども発達学科・准教授) コーディネーター 請川滋大 (日本女子大学家政学部児童学科・教授)、加藤直子 (立正大学社会福祉学部子ども教育福祉学科・特任講師)

13:30-15:30 : 分科会③『こどもの健康と環境』 ★リアル (60名程度) ☆オンライン

パネリスト 加藤里香 (川崎市中原区役所地域みまもり支援センター、管理栄養士)、富樫有里子 (主任栄養教諭、世田谷区立喜多見中学校勤務) コーディネーター・パネリスト 野田聖子 (日本女子大学 家政学部食物学科・助教、管理栄養士)

■百年館207室 ★リアル (60名程度) ☆オンライン中継あり

9:00-11:00 : 分科会②『こどものクライシスから地域の持続可能性を考える』 ★リアル (60名程度) ☆オンライン

パネリスト 栗林知絵子 (特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長)、松月弘恵 (日本女子大学家政学部食物学科・教授)、澤田美砂子 (日本女子大学家政学部児童学科准教授) コーディネーター 浅野由子 (日本女子大学児童学科・専任講師)

13:30-15:30 : 分科会④『こどもの精神的ストレスと支援』 ★リアル (60名程度) ☆オンライン

パネリスト 渡邊英則 (認定こども園ゆうゆうのもり幼稚園園長)、山口博子 (日本女子大学附属豊明小学校校長)、本間生夫 (NPO「安らぎ呼吸プロジェクト」理事長) コーディネーター 三木祐子 (帝京大学医療技術学部看護学科 小児看護学准教授)

■成瀬記念講堂 ★リアル ☆オンライン中継あり

15:30-16:30 : 閉会式・統括セッション**【大会参加費】**

正会員、団体会員 : 5,000円

学生会員 : 3,000円

会員外学生 (日本女子大学学生外) : 3,000円

会員外学生 (日本女子大学学生) : 1,000円

会員外一般 : 6,000円

(こども、障がい者は無料)

エクスカージョン参加費 : A・Bコース : 1,000円、Cコース : 無料

«お申込みフォームはこちら»

■こども環境学会 東京大会 チラシ ダウンロード

■後援 : 内閣府、国土交通省、文部科学省、厚生労働省、環境省、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構、公益財団法人、日本ユニセフ協会、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本都市計画学会、公益社団法人日本造園学会、一般社団法人日本環境教育学会、一般社団法人日本発達心理学会、一般社団法人日本保育学会、一般社団法人日本体育学会、日本子ども社会学会、人間・環境学会、日本安全教育学会、日本感性工学会、公益社団法人日本小児保健協会、公益社団法人日本建築家協会、全国建設室内工事業協会、一般社団法人都市計画コンサルタント協会、一般社団法人日本公園施設業協会、一般社団法人日本公園緑地協会、一般財団法人公園財団、一般社団法人日本造園建設業協会、公益財団法人都市緑化機構、IPA 日本支部、特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン (予定)

※今後、予告なく変更になる場合があります。ご理解のほどお願いいたします。

■事務局 : 公益社団法人 こども環境学会

〒106-0044 東京都港区東麻布3-4-7 麻布第1コーポ601

TEL : 03-6441-0564 FAX : 03-6441-0563

E-mail : info@children-env.org URL : https://www.children-env.org

大会

大会関係の資料については、以下のフォルダからダウンロード可能です。

- こども環境学会 東京大会 チラシ ダウンロード
- ポスターセッション募集要領・申込書・様式 ダウンロード ※応募申込は締切りました
- ※申込書word版はお使いのバージョンによってレイアウトの崩れがある場合がございます。

大会 関係資料

大会 関係資料

名前	サイズ	更新日	
 2022年大会（東京）	13.96 MB	2022/02/02	
 2023年大会（沖縄）	3.61 MB	2022/11/07	
 過去の大会	20.14 MB	2021/02/27	

教育・啓発



提言

大会

セミナー/シンポジウム

学会誌

表紙デザイン画コンペ

災害等支援活動

刊行物/パンフレット

こども第一/ファースト運動

学会概要

教育・啓発

研究・評価

資格認定・顕彰

入会案内

寄付のお願い

お問合せ・申込み

ホーム